

# これからの50年を見据えて

これからの50年を見据えて、4月19日に、大木町は西松建設株式会社<sup>※</sup>と「脱炭素の社会実現に向けた包括連携協定」を結びました。この協定は、両者で連携しながら「脱炭素のまちづくり」を目指すものです。西松建設株式会社が自治体とこのような協定を締結するのは大木町が初めてです。



## 具体的には何をやるの？

共同で特別目的会社（SPC）を設立し、役場周辺の駐車場などに太陽光パネルを設置し、自前の電線や蓄電池を整備することにより、公共施設の電力を自前で供給するマイクログリッドを構築しま

す。来年12月の運用開始を目指しています。

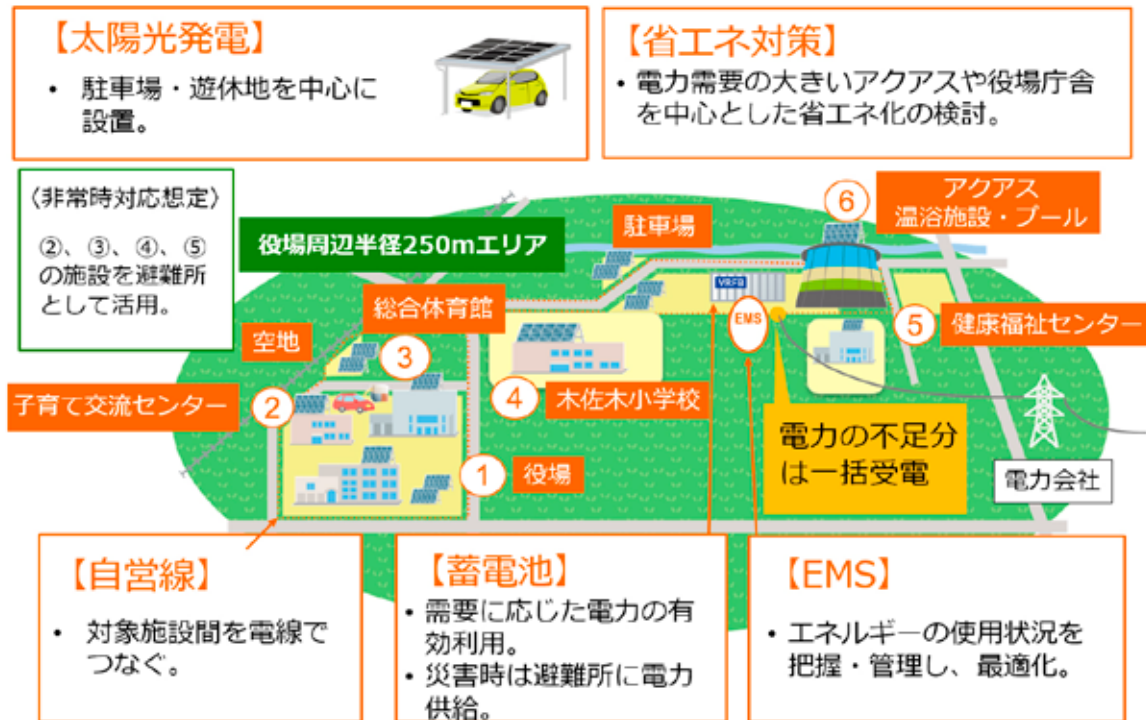
2050年温室効果ガス排出量実質ゼロへ向けたロードマップ HPQRコード



## 事業の効果

- (1) 公共施設で使用する電力を再エネ100%に  
公共施設で使う電力の50%の電力を本事業で賄い、残りの電力は、再生可能エネルギー由来の電力を購入することで、公共施設での使用電力を再生可能エネルギーで全て賄うことができます。
- (2) 災害時の非常用電源  
災害時に、避難所などで必要な電力の約2日分を蓄電池から供給することができます。

## 大木町・ゼロカーボングリッド イメージ図（役場周辺）



## (3) 経済効果

地域で生み出した電力（資源）を地域内で循環させることで、地域外に出ていた資金を中にとどめることができます。また、新規事業創出による、新たな雇用拡大を見込んでいます。

太陽光の導入や、各家庭での省エネ、ごみの分別など、一人ひとりが環境を守るためにできることは小さいことから大きなことまで様々ですが、日頃の小さな積み重ねが大切です。「かけがえのない地球」を守るために、できることから取り組んでみてください。

※西松建設株式会社：大型土木工事・建築事業のノウハウがある大手総合建設業者

